

超微細気泡
乳白色風呂



マイクロバブルバス

マイクロバブルバス システム用機器



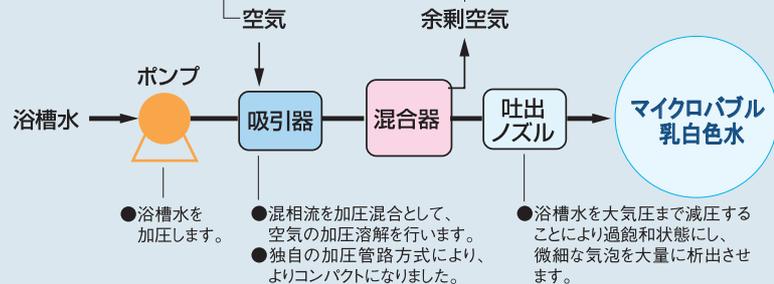
従来のパイプバスやジェットバスで発生する気泡に比べ格段に小さい(1/1000~1/100) **超微細気泡**により浴槽全体が乳白色となり、あたたかもミルクに包まれたような気分を味わえる新しい入浴システムです。



製品機能

●加圧水により空気を負圧吸引しますので、コンプレッサがなくても気液混相流を形成することができます。

●余剰空気は自動的に混合器外へ分離排出しますので、加圧タンク方式特有の水面調整の必要はありません。また、運転立ち上げの時の複雑な調整などの必要もありませんので、運転ボタンのワンタッチスタートで迅速に立ち上がります。



装置の特徴

1. 大量の微細気泡を安定してかつ連続的に製造します。
2. コンプレッサーが不要です。
3. タンクレスで立ち上がりが迅速です。
4. 初期設定後はスイッチを入れるだけのワンタッチ運転です。

超微細気泡浴の心理的、生理的効果

- 超微細気泡に体全体が包まれるために柔らかい湯あたり感となります。
- すべすべ感やうるおい感など心地よい肌触り感があります。
- 一般浴に比べ温熱効果があります。
- 分泌される脂肪分や埃、古い角質などの除去作用があります。
- 超微細気泡でカバーされるため圧迫感の無い入浴が楽しめます。

《製品仕様》

() 内は60Hz時

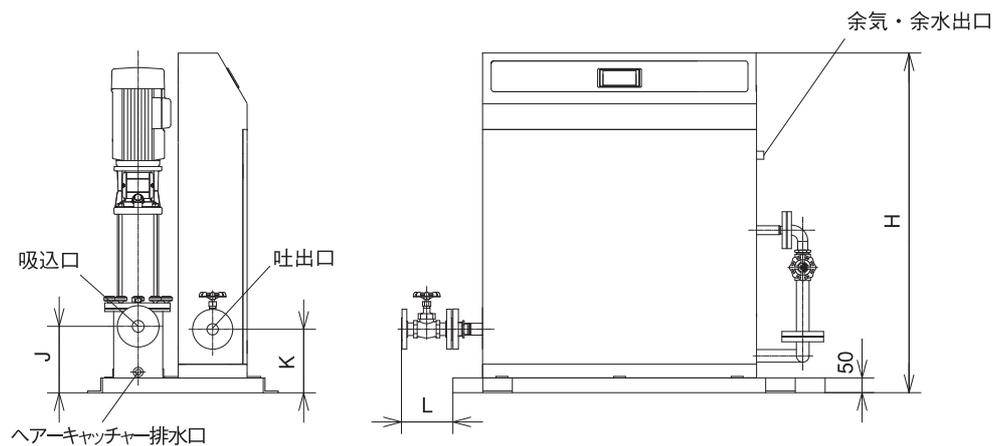
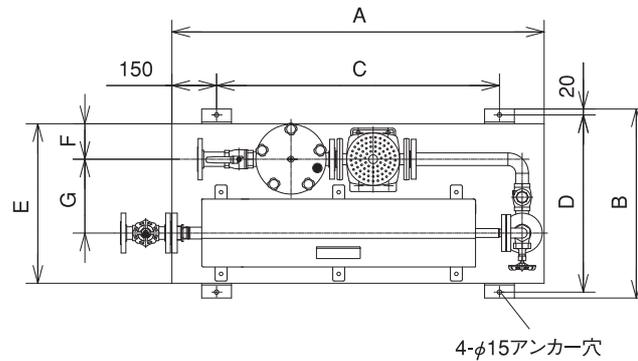
機種	能力	適合浴槽[浴槽表面積]	ポンプ仕様 [φ3・200V]	製品重量
MB - 003	3 m ³ /h	1.2 m ² [2.0m ²]	25A×25A・50L/min×90m (90m)・1.5Kw (2.2Kw)	70kg (70kg)
MB - 006	6 m ³ /h	2.4 m ² [2.4m ²]	32A×32A・100L/min×95m (90m)・3.0Kw (3.0Kw)	190kg (185kg)
MB - 010	10 m ³ /h	4.0 m ² [7.0m ²]	40A×40A・167L/min×90m (105m)・4.0Kw (5.5Kw)	270kg (287kg)

《配管接続》

機種	吸込口	吐出口	ヘアークャッチャー排水口	余気・余水出口
MB - 003	32A JIS10k F.	32A JIS10k F.	Rc 1/2 (15A)	Rp 1/2 (15A)
MB - 006	40A JIS10k F.	40A JIS10k F.	Rc 1/2 (15A)	Rp 1/2 (15A)
MB - 010	50A JIS10k F.	50A JIS10k F.	Rc 1/2 (15A)	Rp 3/4 (20A)

《入付品》

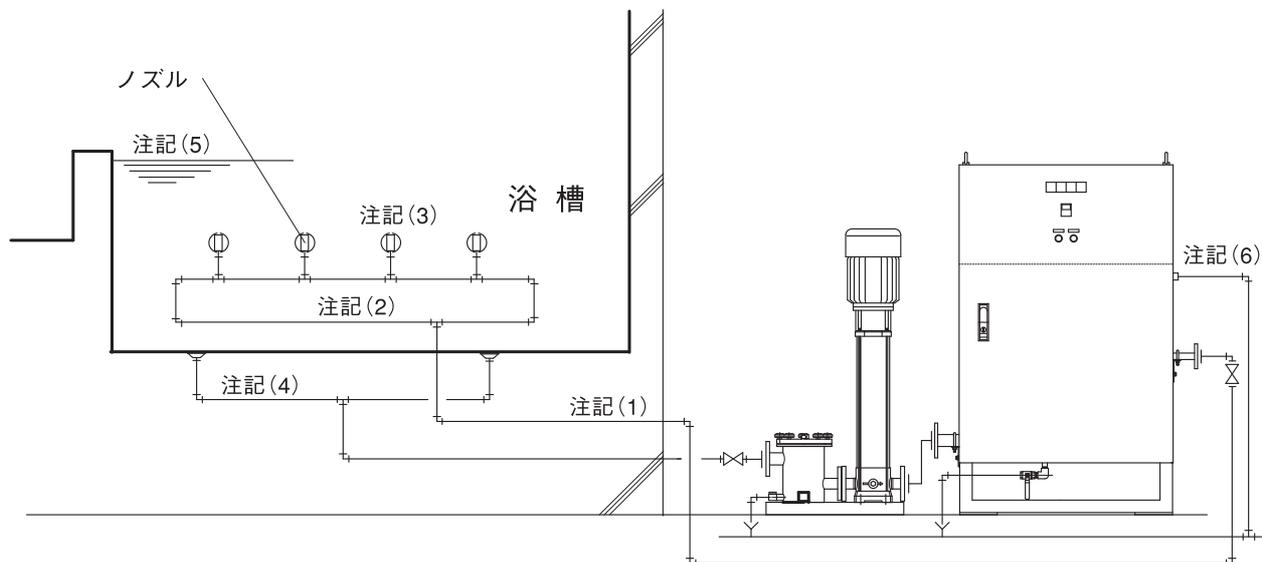
機種	底面循環金具	吐出ノズル
MB - 003	SS - 32 [32A] ×2ヶ	接続口20A×2ヶ
MB - 006	SS - 40 [40A] ×2ヶ	接続口20A×5ヶ
MB - 010	SS - 50 [50A] ×2ヶ	接続口20A×8ヶ



《寸法表》

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
MB - 003	1050	620	750	580	520	120	250	1000	225	190	150
MB - 006	1250	640	950	600	540	120	250	1150	225	215	173
MB - 010	1500	730	1200	690	630	140	300	1400	225	240	186

マイクロバブルバスシステム 配管系統図



- 注記(1) 装置から浴槽まで管内の循環水は空気を飽和点まで溶解した状態です。途中空気溜まりとなる箇所があるとその場所で徐々に発泡し蓄積して拡大した気泡となって浴槽の微細気泡に影響を与えます。
配管は必ず横引きと上向きで延長して下さい。また分岐する場合も取り出し口を上向きにして下さい。
やむを得ない場合は、要所に自動空気抜き弁を設置して下さい。
装置直近のバルブ以外、吐出側には弁類を設けないで下さい。配管の延長距離は30m以内を目安にして下さい。
- 注記(2) 複数個のノズルを付ける場合は、ループ配管を行って下さい。
- 注記(3) ノズルの取り付け高さは、浴槽壁面の水深400mm程度にして下さい。
- 注記(4) ろ過やマイクロバブルの吸い込み口は、ノズルと距離を置いて下さい。
- 注記(5) 微細気泡の上昇と共に浴槽内の汚れが水面に浮き上がる場合がありますので新鮮水を定期的に補給し、溢れさせる強制オーバーフロー回路を補給水回路に持たせて下さい。
- 注記(6) 装置から連続的に少量の空気混入排水が出ますので、排水管に直結して下さい。

※注記：ろ過の吹き出しがきつかったり循環水量が多いところでは、一部白濁が薄くなる箇所があります。

※注記：吸い込み金具は、必ず2ヶ以上必要です。